資料11－5

公衆無線LANセキュリティの周知・啓発について

2018年11月

Wi-Fi利用者・提供者向けマニュアル（手引き）の改定

公衆無線LANセキュリティ分科会報告書（抜粋）

「Wi-Fi利用者向け簡易マニュアル」や「Wi-Fi提供者向けセキュリティ対策の手引き」を改定し、具体的なセキュリティ対策の事例を紹介する等、公衆無線LAN サービスのセキュリティに関するさらなる周知・啓発を図ることが適当である。

見直しのポイント案

- ◆ Wi-Fiの設置や利用の広がりについて、データを用いて紹介
- ◆ 不正利用や被害の実態について、実例を交えて紹介
- ◆ セキュリティ対策に係るベストプラクティスの共有
- ◆ 近年の動向を踏まえたトピックを追加
  - ー 急増する訪日外国人向けの対応（アプリの導入・普及状況等）
  - ー 頻発する自然災害時における通信手段としてのWi-Fi、避難所等における設置／利用について　etc.

オンライン教育等の教育コンテンツを活用した周知・啓発

公衆無線LANセキュリティ分科会報告書（抜粋）

オンライン教育等（例えば、放送大学や「gacco」）の教育コンテンツを活用した公衆無線LANの利活用やセキュリティに関する周知・教育等、（中略）を行うことも考えられる。

（gaccoとは、NTTドコモが運営する大規模オンライン講座プラットフォームで、インターネットを通じて無料で受講することができる）

オンライン教育コンテンツのコンセプト案

◆ **有識者による動画を活用した分かりやすい解説**

－ マニュアル等やHPでは伝えきれないWi-Fiのセキュリティに関するより詳しい内容について、有識者が動画を活用しながら分かりやすく解説

◆ **gaccoのプラットフォームを活用したより幅広い層への周知・啓発**

－ 従来の講演会ベースの活動ではリーチできなかった層も含めて、46万人超の会員を有するgaccoを活用することで、より幅広い層に対して周知・啓発を実施

＜参考＞ gaccoの会員は、20・30・40・50代がそれぞれ約2割前後おり、生涯学習に活用

◆ **学習意欲の高いユーザーからのフィードバックを通じた周知・啓発活動の改善**

配信動画のイメージ